

【様式1】 CAN-DO LIST 2022

学校名:	南大隅		高等学校	大学科:	商業科	
科目名:	英語コミュニケーション I			学年	1年	
領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	お気に入りの場所やものなどの日常的な話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、話者の意図を理解することができる。	1・8	考査	1学期 3学期	ア
	L2 □	歴史などの社会的な話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の概要を理解することができる。	5	考査	2学期	イ
Reading	R1 □	簡単な語を用いて書かれた、人間関係などの日常的な話題に関する文章を、イラスト等を参考にしながら理解することができる。	2	考査	1学期	ア
	R2 □	環境問題などの社会的な話題を扱った平易な文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。	7・10	考査	2学期 3学期	イ
Speaking Interaction	SI1 □	スポーツなどの身近なトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。	3	PT	1学期	ア
	SI2 □	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、物や人を比べたりすることができる。	6	PT	2学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で自分の調べたことについて説明することができる。	7	PT	2学期	ア
	SP2 □	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように自分の関心のある事柄について語ることができる。	9	PT	2学期	イ
Writing	W1 □	簡単な語彙や句、文で、日常的な話題について自己紹介などのまとまりのある文章を書くことができる。	1	エッセイ ライティング	1学期	ア
	W2 □	環境などの社会的な話題について、個人的経験や自分に直接関係のある事柄であれば、簡単に描写したり自分の考えを述べたりすることができる。	4・10	エッセイ ライティング	2学期 3学期	イ

※左のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2022

学校名:	南大隅	高等学校	学年:	1
科目名:	英語コミュニケーション I		大学科:	商業科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	L	ア	定期考査	L1□	お気に入りの場所やものなどの日常的话题について、ゆっくりはっきりと話されれば、話者の意図を理解することができる。
	5	1	W	ア	エッセイ ライティング	W1□	簡単な語彙や句、文で、日常的话题について自己紹介などのまとまりのある文章を書くことができる。
	6	2	R	ア	定期考査	R1□	簡単な語を用いて書かれた、人間関係などの日常的话题に関する文章を、イラスト等を参考にしながら理解することができる。
	7	3	SI	ア	PT	SP1□	スポーツなどの身近なトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。
2	9	4	W	イ	エッセイ ライティング	W2□	環境などの社会的な話題について、個人的経験や自分に直接関係のある事柄であれば、簡単に描写したり自分の考えを述べたりすることができる。
	10	5	L	イ	定期考査	L2□	歴史などの社会的な話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の概要を理解することができる。
	11	6	SI	イ	PT	SI2□	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、物や人を比べたりすることができる。
	12	7	R	イ	定期考査	R2□	環境問題などの社会的な話題を扱った平易な文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。
	12	7	SP	ア	PT	SP1□	スポーツなどの身近なトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。
3	1	8	L	ア	定期考査	L1□	お気に入りの場所やものなどの日常的话题について、ゆっくりはっきりと話されれば、話者の意図を理解することができる。
	2	9	SP	イ	PT	SP2□	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように自分の関心のある事柄について語ることができる。
	2	10	R	イ	定期考査	R2□	環境問題などの社会的な話題を扱った平易な文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。
	3	10	W	イ	エッセイ ライティング	W2□	環境などの社会的な話題について、個人的経験や自分に直接関係のある事柄であれば、簡単に描写したり自分の考えを述べたりすることができる。

英語コミュニケーションⅠ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
話すこと [やり取り]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。
話すこと [発表]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。